

ProMED-mail 情報 2021年3月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
25日	鳥インフルエンザH5N6 中国	2014年以降ヒト感染30名（うち死亡7名）。中国南部の広西自治区の50歳男性が、2月16日発症し、重症肺炎で3月2日死亡。鳥との接触は不明。
24日	ツラウイルス感染症 ドイツ	ハンタウイルスに属するツラウイルスを保有するハタネズミはヨーロッパに広く分布し、その感染も普遍的にみられ、病原性が無いと思われていた。肺、腎障害を伴う典型的ハンタウイルス感染症を発症した免疫適格な21歳男性の入院治療が報告され、病原性被害の危険を発表。
20日	サルモネラ感染症 米国	七面鳥サルモネラ食中毒に要注意。2018年は全米42州で358名以上発症、1名死亡、2019年は3州で7名発症。本年3月15日、9州で22名の発症、感染源は、血清型Hadar感染した七面鳥の肉製品と、CDCが発表。
17日	リーシュマニア症 リビア	皮膚型リーシュマニア症はリビアの風土病であり、過去に局所流行あり。この半年間に、患者の治療は約5,000人。リーシュマニア原虫を媒介するサシチョウバエの対策不備に起因。
16日	レジオネラ症 米国	2月26日～3月3日ニュージャージー州ユニオン郡の住民に、確定14名（うち死亡1名）のクラスター発生。多くの健康者は、感染しても発症しないが、50歳以上、喫煙歴、慢性疾患、免疫低下者は発症リスクあり。いくつかの感染源となり得る場所を特定して消毒処置。
15日	麻しん アメリカ大陸	2020年報告の多い順は、ブラジル（確定8,448例、死亡10例）メキシコ（確定196例）アルゼンチン（確定61例、死亡1例）米国（確定13例）他5カ国（確定8例）。2021年1～6週に、ブラジルは確定54例にて、流行が継続しており、周辺国へ脅威。
12日	エボラウイルス病 コンゴ民主共和国 ギニア	3月3日短報以降、コンゴ民主共和国での報告無し。ギニアは確定例1名、死亡例2名と報告。1月以降、両国合わせて、確定例29名（うち医療従事者7名）、死亡例13名（致死率45%）。3カ所の研究所にてウイルス遺伝子解析され、2013～2016年流行時ウイルス系統と差違はほとんど無い。
11日	ボツリヌス症 米国	昨年、ロサンゼルス郡の創感染ボツリヌス症例数は、例年の倍増9例。今年2月、ヘロイン注射に起因する感染4例を報告。薬物注射部の皮下、筋に膿瘍形成し、挿管による呼吸管理を要した。
8日	黄熱 ブラジル	ブラジル南部のサンタローザ市で15日間程に40匹のサル死体を登録。その摘出臓器ウイルス検査を予定。野生サル死亡の短期的増加は、森林型黄熱ウイルス流行の特徴。森林型から、都市型のヒト感染流行する危険があるため、直ちに地域住民のワクチン接種カバーが必要。
6日	毒クラゲ オーストラリア	2月22日オーストラリア最北端のケープ岬バマガで17歳男性が、海水浴中、箱クラゲに刺され受傷。病院へ航空搬送され、3月1日死亡。オーストラリア北部熱帯海域に生息する箱クラゲは、最強有毒生物の一種。同地区で以前にも致死例があったが、最近15年間は無かった。
2日	レプトスピラ症 オーストラリア	北部準州、クイーンズランド州北部の熱帯地域で雨期に多い人獣共通感染症。2020年の4例と比べ、今年は既に9例の牧牛農民の感染報告。致死的となり得るが、抗生物質が有効。人のワクチン無し。
2日	COVID-19 ニュージーランド	2020年9月29日ドバイ発オークランド着の航空機乗客7名が、入国検疫で陽性確定。ゲノム解析からスイスの乗客が、クラスター源と推定。出国前ウイルス検査陰性、機内でマスク手袋着用、座席離間の感染防止対策がとられても、長距離フライトによる二次感染判明。